

## 総合的な学習の時間② 生徒がつくるプロジェクト

勤務校では、プロジェクト型探究を行い、文化祭の中学クラス展示部門で発表する。かつて私が担任した中1A組ではテーマを出し合い、キーワードをマッピングして比較し、テーマを絞り込んだ。結果、「コンプレックス」と「ファッション」が残った。最後の多数決

「制服について調べたい」などの意見があった。その結果、1班「ファッションの歴史や伝統」、2班「ファッションのよい影響・悪い影響とSDGs」、3班「ファッションブランドと若者の流行」、4班「制服関連」に分かれて調査することになった。生徒が来場者からは、「何かの正解を見つけない」というよりも、みんなでどうしたらうまくやっていけるのかを提案しているところが、とても素晴らしい」などの評価を受けた。来場者に「クロスファッション」に込めた思いが伝わり、A組は中学展示部門で金賞を受賞した。

## 成果にとらわれず成長の機会を

解を見つけないというよりも、みんなでどうしたらうまくやっていけるのかを提案しているところが、とても素晴らしい」などの評価を受けた。来場者に「クロスファッション」に込めた思いが伝わり、A組は中学展示部門で金賞を受賞した。

差で「ファッション」に決定した。

私は具体的な班決めに向けて、映画「ザ・トゥルー・コスト」を視聴して振り返りを書かせ、開発教育協会で作成したアクティビティ集「服・ファッション」のワークシートを

生徒からは、「パリダンスやスペインの衣装を展示したい。日本や海外のファッションの歴史や伝統を調べたい」「ファッションの流行について、商店街でインタビューをしたい。動画を作りたい」

## 吉崎 亜由美

桐朋女子中・高等学校(東京都)教諭



私は、「表参道で調査をしてみたら」と生徒に提案し、7月の猛暑日に調査を行った。文化祭委員は動画の撮影を行い、その他の生徒は班ごとに店員や通行人へのインタ

ビューを日本語や英語で行った。その後、文化祭委員は、吉祥寺でも動画の撮影を行い、教室で生徒にお気に入りの服を着てもらい、撮影した。調査の一環として、フェアートリードカンパニーの広報担当やファッションブランドの元社員によるワークショップを行い、その内容も展示に反映した。

プロジェクト型探究の目的は、生徒の成長である。教員が成果にとらわれてしまったり、成長の機会を奪うということ、を私は生徒から教えられた。